

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年2月13日

【四半期会計期間】 第36期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

【会社名】 株式会社セレスポ

【英訳名】 CERESPO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 稲葉利彦

【本店の所在の場所】 東京都豊島区北大塚一丁目21番5号

【電話番号】 東京03(5974)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 堀貴貴司

【最寄りの連絡場所】 東京都豊島区北大塚一丁目21番5号

【電話番号】 東京03(5974)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 堀貴貴司

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第3四半期累計期間	第36期 第3四半期累計期間	第35期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	6,087,702	7,679,497	7,555,365
経常利益 (千円)	317,978	556,531	135,923
四半期(当期)純利益 (千円)	211,094	332,507	85,560
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)			
資本金 (千円)	1,370,675	1,370,675	1,370,675
発行済株式総数 (株)	5,703,500	5,703,500	5,703,500
純資産額 (千円)	3,704,074	3,901,856	3,592,348
総資産額 (千円)	7,223,195	7,731,170	6,662,192
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	38.48	60.63	15.60
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
1株当たり配当額 (円)			6.00
自己資本比率 (%)	51.3	50.5	53.9

回次	第35期 第3四半期会計期間	第36期 第3四半期会計期間
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	36.20	58.51

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成していませんので、四半期連結累計(会計)期間に係る主要な経営指標等の推移については記載していません。
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社がないため記載していません。
4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態及び経営成績の状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等に下支えされ緩やかな回復基調が見られる中、欧州債務問題、世界経済の減速基調の継続、長引く円高などを原因として依然として先行き不透明な状態が続きました。年末に向けて経済政策への期待等により株式相場は上昇傾向となり、為替相場も円安傾向に転ずるなど経済環境は改善気配を見せ始めましたが、先行き不透明感が完全に払拭されたと言うには、今しばらく時間を要するものと思われまます。

このような状況下、当社では今期より開始した「中期経営計画」に基づき、会場設営を中心とする運営体制から、イベント・プロモーションの総合請負企業へと発展・拡大する戦略を打ち出し、企画・制作・運営機能を含む総合的な機能を充実させた、いわゆる「イベント・ソリューション・パートナー企業」を目指して、収益性の向上に取り組んでおります。

売上高にしましては、秋の大型イベントの受注等もあり、総じて順調に推移して増収となりました。

利益にしましては、売上高の増加に伴って売上総利益が増加し、営業利益、経常利益、四半期純利益とも増加しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,679百万円（前年同期比26.1%増）、営業利益は547百万円（前年同期比139.2%増）、経常利益は556百万円（前年同期比75.0%増）、四半期純利益は332百万円（前年同期比57.5%増）となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。

〔スポーツ〕

春に開催された日本陸上選手権大会、秋の国民体育大会競技に加え、横浜国際女子マラソン大会等の受注増加等があり、売上高は2,165百万円と前年同期比37.2%の増収となりました。

〔フェスティバル〕

大規模な市民祭や9都県市合同防災訓練等の受注による地域振興イベント等の増加により売上高は1,396百万円と前年同期比21.0%の増収となりました。

〔セールスプロモーション〕

展示会・プロモーション等の増加により売上高は1,393百万円と前年同期比14.2%の増収となりました。

〔コンベンション〕

記念式典等の増加により売上高は1,158百万円と前年同期比38.1%の増収となりました。

〔セレモニー〕

地鎮祭・竣工式等の増加により売上高は1,080百万円と前年同期比23.5%増収となりました。

〔レクリエーション〕

運動会等の企業内行事の受注の増加により売上高は432百万円と前年同期比25.1%の増収となりました。

〔その他〕

テントの売渡し・貸し出しの需要の減少等の影響により、売上高は52百万円と前年同期比30.1%の減収となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産は前事業年度末に比べて1,068百万円増加し、7,731百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が1,116百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比べて759百万円増加し、3,829百万円となりました。これは主に短期借入金並びに1年内返済予定長期借入金が831百万円、長期借入金が237百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて309百万円増加し、3,901百万円となりました。これは主に利益剰余金が299百万円増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期累計期間において、当社の経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,000,000
計	22,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	5,703,500	5,703,500	大阪証券取引所JASDAQ (スタンダード)	単元株式は1,000株であります。
計	5,703,500	5,703,500		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年12月31日		5,703,500		1,370,675		1,155,397

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 219,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,451,000	5,451	同上
単元未満株式	普通株式 33,500		同上
発行済株式総数	5,703,500		
総株主の議決権		5,451	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。
- 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式47株が含まれております。
- 3 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載できないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社セレスポ	東京都豊島区北大塚 1 - 21 - 5	219,000		219,000	3.84
計		219,000		219,000	3.84

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がないため、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	789,923	907,993
受取手形及び売掛金	² 1,120,719	² 2,237,192
有価証券	27,074	27,089
原材料及び貯蔵品	20,037	21,893
未成請負契約支出金	¹ 32,089	¹ 39,743
その他	114,675	85,119
貸倒引当金	38,901	27,777
流動資産合計	2,065,619	3,291,253
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	402,021	389,742
土地	3,310,250	3,310,250
その他(純額)	146,306	113,035
有形固定資産合計	3,858,578	3,813,027
無形固定資産	44,732	33,985
投資その他の資産		
その他	753,541	675,858
貸倒引当金	60,280	82,955
投資その他の資産合計	693,261	592,903
固定資産合計	4,596,572	4,439,916
資産合計	6,662,192	7,731,170
負債の部		
流動負債		
買掛金	734,644	304,579
短期借入金	300,000	1,050,000
未払法人税等	29,919	177,695
賞与引当金	51,975	12,770
1年内返済予定の長期借入金	690,232	771,785
その他	386,194	456,809
流動負債合計	2,192,965	2,773,640
固定負債		
長期借入金	608,114	845,942
退職給付引当金	70,170	70,533
役員退職慰労引当金	51,612	39,700
資産除去債務	40,940	41,085
その他	106,040	58,411
固定負債合計	876,878	1,055,673
負債合計	3,069,843	3,829,314

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,675	1,370,675
資本剰余金	2,155,397	2,155,397
利益剰余金	184,888	484,486
自己株式	62,277	62,375
株主資本合計	3,648,683	3,948,183
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56,335	46,327
評価・換算差額等合計	56,335	46,327
純資産合計	3,592,348	3,901,856
負債純資産合計	6,662,192	7,731,170

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	6,087,702	7,679,497
売上原価	4,296,464	5,458,499
売上総利益	1,791,237	2,220,997
販売費及び一般管理費	1,562,299	1,673,320
営業利益	228,937	547,676
営業外収益		
受取配当金	58,400	34,003
受取保険金	-	7,931
貸倒引当金戻入額	28,940	-
その他	14,506	6,810
営業外収益合計	101,848	48,745
営業外費用		
支払利息	12,807	14,764
貸倒引当金繰入額	-	22,289
その他	-	2,837
営業外費用合計	12,807	39,891
経常利益	317,978	556,531
特別利益		
有価証券売却益	10,925	-
投資有価証券売却益	6,762	-
退職給付制度終了益	109,279	-
受取補償金	-	6,658
その他	910	494
特別利益合計	127,876	7,152
特別損失		
投資有価証券売却損	12,221	24,532
固定資産除却損	128	372
投資有価証券評価損	-	1,121
保険解約損	-	4,474
減損損失	8,488	-
関係会社株式売却損	14,792	-
特別損失合計	35,630	30,501
税引前四半期純利益	410,225	533,182
法人税、住民税及び事業税	35,674	171,465
法人税等調整額	163,457	29,209
法人税等合計	199,131	200,674
四半期純利益	211,094	332,507

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

- 1 未成請負契約支出金とは、仕掛中の請負契約について発生した原価を集計したものであります。
- 2 四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。
なお、当第3四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が四半期会計期間末残高に含まれております。

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	51,960千円	13,125千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	67,846千円	68,830千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	16,459	3	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	32,909	6	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

当社はイベント総合請負業ならびにこれらの関連業務の単一事業セグメントであるため、記載を省略しています。

当第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

当社はイベント総合請負業ならびにこれらの関連業務の単一事業セグメントであるため、記載を省略しています。

(金融商品関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	38円48銭	60円63銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	211,094	332,507
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	211,094	332,507
普通株式の期中平均株式数(株)	5,486,091	5,484,610
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月8日

株式会社セレスポ
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井上 隆 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐々田 博 信 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社セレスポの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第36期事業年度の第3四半期会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社セレスポの平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。